

第1回岐阜県生徒指導推進会議 議事要旨

1 開催日時・場所

日 時：令和8年6月10日（水）午後2時00分から午後3時35分

場 所：岐阜県庁舎20階 会議室2001

2 組織の概要

平成18年に県内で発生した悲しい出来事を二度と起こさないため、子どもと大人の豊かなかわりや子ども同士の思いやりのある温かい人間関係によりいじめの未然防止に努める。

3 構成

青少年育成指導者養成関係者 大学関係者 県教育推進会議等代表者
非行予防・更生関係団体関係者 青少年育成団体関係者 社会教育団体関係者
福祉関係者 保護者代表者 小・中・義・高・特別支援学校代表者
社会教育行政関係担当者 人権行政関係担当者・学校教育行政関係担当者 25名

4 岐阜県生徒指導推進会議における成果と課題と今年度の推進について

- 「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果について
- 「令和7年度岐阜県生徒指導推進会議」「あったかい言葉かけ県民会議」の成果と課題
 - ・リーフレット・動画紹介
 - ・各地区における「生徒指導連携強化委員会」兼「家庭教育推進会議」の報告
- 「令和8年度岐阜県生徒指導推進会議」「あったかい言葉かけ県民運動」について

5 意見交換（今年度の推進等について）

- ・道徳教育の発展・充実を願い、取り組んでいる。1家庭1ボランティア、家庭から地域への広がりを目指している。子どもを取り巻く状況の変化の中、人との関わりの中で温かい人間関係を作っていくこと、あったかい言葉かけ運動と同様に健全育成に取り組んでいる。
- ・「地域と学校」、「地域が見守る」、子どもの声を聴ける大人を育てていく必要がある。何かをしてあげるのではなく、子どもの声から学べると違うのではないか。子どもの意見をまず聞く。子どもは聞いてくれる大人を信じようとする。誰かの言葉を聞いてあげるだけで、人は変わっていく。大人も敏感になって、子どもたちの声を拾う。大人は子どもを育てているが、大人も子どもに育てられている。win-winの関係を目指していくことが大切。
- ・異年齢の集団で活動を行い、高齢者を巻き込んで、つなげる子どもたちを育てたい。子ども自らいろんなことを学んでもらいたいと考えている。「研修のスタイルの変化」として、大人だけでなく、子どもも参加できる研修に楽しく取り組んでいる。地域の子どもたちが地域の大人にいろんな話ができるように、令和7年度から、一緒になって活動することを大切にしている。
- ・「できることから、私から」という合言葉で、挨拶運動や非行防止など、各アドバイザーは様々なことに取り組んでいる。子どもの輪ができていくところには、あったかい言葉がある。大人が何かをしてあげるのではなく、大人も子どもと一緒に何かできることが大事。
- ・子どもを取り巻く多くの団体の方が、子どもに関わっている。今も子ども本来の姿を失っている訳でないのに、親子関係が1番大事であるが、地域社会もその大切な部分を担うのではないか。過去にあった大阪での痛ましい事件では、子どもたちが夜の街をさまよっていた。そこで、なぜ、大人は気付かず、声をかけることができなかったのか。隙間に落ち込んでいる子どもたちを救っていくことが大切ではないか。